

# 校長室の窓

富谷市立明石台小学校  
校長室だより NO.9  
令和4年1月11日(火)発行

新しく立ち上がり 成長する年に

あけまして  
おめでとうございます



保護者の皆様、ご家族の皆様並びに地域の皆様には、健やかなよいお年をお迎えのことと思います。2022年、新しい年がスタートしました。本年も本校の教育活動に対し、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

今年は任寅（みずのえとら）年。動物のトラはネコ科最大の動物で、アジアに広く生息し、決断力と才知の象徴として親しまれています。また壬寅には「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」といった縁起のよい意味があるそうです。格言通りであれば、勇ましい成長が期待できそうな年。そんな一年になるように努力していきたいと思います。

また、年末には保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。現在、教育委員会が各校の集計を行っております。結果が出ましたら、学校でもしっかりと分析をし、改善に努めて参ります。

年末より新型コロナウイルスのオミクロン株が広がりつつあるようです。ご家庭におきましてもこれまで通り、手指消毒の徹底、体温チェックによる体調確認、規則正しい生活による睡眠の確保、バランスの良い食事による栄養確保など感染症対策へのご協力をよろしくお願いいたします。

## 親、家庭の役割とは。。

今年のお正月は、昨年より家族や親戚、友人と団らんする時間をもつことができたでしょうか。知らず知らずに溜まっているストレス。コロナ感染も怖いですが、我慢をため込むのも健康的によくありません。それは、大人だけではなく子供たちも同じです。子供たちが健やかに過ごすために、学校、家庭で意識して実践していきませんか。

### 【その1】・・・「親自身が楽しく毎日を過ごしている家庭」（教師自身が毎日楽しそうにしている学校）

- ☆ 親が、仕事や趣味に一生懸命取り組んでいたり、チャレンジしたりしていて、生き生きと明るく健康的に過ごしている家庭では、幸福度が子供たちに伝わり、勉強へのやる気や前向きに努力する気持ちにつながります。
- ▼ 親が愚痴ばかり言ったり、疲れた表情ばかりしていると、それを見たり聞いたりしている子供の気持ちは暗くなり、すべてにやる気を失います。

### 【その2】・・・「会話が多く、家庭仲が良い家庭」（会話が多く、教師・児童の関係がよい学校）

- ☆ 家族仲がよいと、子供は安心して家庭での居心地のよさを実感します。それが、心の安定にもつながり、物事への集中力アップへと導きます。
- ▼ 家庭内がギスギスしていたり、けんかなどのいさかいがよくあつたりすると、子供は落ち着かず、不安に陥り、投げやりな感情が生まれてしまいます。

### 【その3】・・・「家の中が片付いている家庭」（学校、教室の中が片付いている学校）

- ☆ 家の中が片付いていると、心は落ち着き、勉強にも集中できます。
- ☆ 子供に片付けさせるという行動は、ワーキングメモリー（会話や思考能力に影響を及ぼす脳の領域）を鍛えるのにとてもよいと言われています。
- ▼ 子供部屋や家の中が乱雑だと、気持ちが落ち着かず、心も乱れて、気力がわかず、勉強にも集中できません。

## 冬休み明けの朝会

新年初めの朝会では、子供たちに昔話をしました。この話を通して、自分自身で今どんな行動をするのが大事なのかを考えて行動できるようになってほしいということを伝えたいと思い話しました。

今日はお正月にちなんで昔話をしたいと思います。様子を思い浮かべながら聞いてくださいね。昔々、あるところに、じい様とばあ様が住んでおられました。ある日、隣の家からつきたてのお餅を七つもらいました。

「ばあ様や、一つずつ食べようや。」

「そうですね。一つずつ食べましょう。」

と言いました。そこで二人は仲良く一つずつほおばりました。

「こりゃあ、おいしい。ほっぺが落ちこちるというのは、このことじゃなあ。はっはっはっはっ。」

とってもおいしいお餅でした。残りのお餅はあと五つになりました。

「こんなにおいしいお餅じゃ。もう一つずつ食べようや。」

と、もう一つずつ取って食べました。ばあ様は、

「ほんとにこれはおいしいですね。おっほっほっほっ。」

と笑いながら食べました。餅は残り三つになりました。

「おいしいついでだ。もう一つずつ食べてしまおう。」

また、一つずつ取って、あんぐり大きな口を開いて食べました。餅は残り一つになりました。

「ばあ様や。残り一つきりになってしまった。この餅はじゃんけんて勝った方が食べることにしよう。」とじい様が言いました。

「じい様はじゃんけんが強いからう。じゃんけんはじい様が勝つに決まっている。」

とばあ様は、首を横に振りました。じい様は

「じゃんけんがいやなら、腕相撲で決めよう。」

「だめです。だめです。それこそじい様が勝つに決まっている。」

とばあ様は、また首を横に振りました。じい様は

「それもこれもいやなら、だんまり比べにしよう。だんまり比べをして勝った方が食べよう。」

「それならいいのう。先にしゃべった方が負けですね。」

今度はばあ様も、首を縦に動かしてうなずきました。

二人は一緒に黙りました。二人はずうっと黙っていました。どちらもなかなかしゃべりません。

二人はそのまま布団に入って寝てしまいました。それからまたしばらくの時間が経ちました。

すると、何やらごとごとと音がしました。どろぼうが入ってきたのです。じい様とばあ様はびっくりしました。でも、しゃべったら負けなので、二人ともじいっと黙っていました。どろぼうは、

「しめしめ。この家にはだれもないぞ。」

と、戸棚や引き出しを開けて、着物や品物をいっぱい取り出し、風呂敷に包み始めました。そのとき、神棚にお餅があるのを見つけました。

「おう、こりゃあおいしそうな餅じゃあ。これもいただいていこう。」

ばあ様は、餅を食べられては大変と

「こら!!どろぼう!!」

とありったけの声でどなりました。今度は、泥棒がびっくり仰天。餅も風呂敷包みも投げ出して逃げ去りました。そしたら、じい様がにんまり笑って、

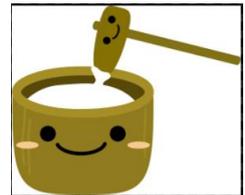
「ばあ様、ばあ様。あんたは今しゃべったから、わしの勝ちじゃな。この餅は、わしがいただくよ。」

「あらあら、私が声を出さなかったら、そのお餅は泥棒に取られて食べられていたのよ。」

と言いましたが

「勝ったのは、わしじゃ。なんとおいしい餅じゃのう。」

と言ってすっかり食べてしまったそうです。



どう感じましたか？ みなさんには、「時と場合」ということを考えてほしいと思います。必要な時には、きちんと伝える、行動する、自分勝手に考えるのではなく、周囲もよく見て判断する力を残り3カ月でさらに付けてほしいと願っています。